1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	手一 /	小学	校											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	3	7							
					₹	1	9	0	_	0	0	2	3	区ī	† 町	村。	名東	京都立月	川市		
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	柴崎	5町2	-20	-3										
事	業所等	多の多	延床面	ī積		11	,321	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)— [‡]	邪(ラ	ーナン	√ ⊦)			建物の	一部	(その)他)
共口	告範囲	の主	たる日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ i	商業施	設(食	欠食)	
羊区	口即进	ひ土	につけ	1 歴		工場	<u>=</u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	う類 番	号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営			加盟	店		非該当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の	可能受入	ニスネ	ルギ	一電		証書に の利用		環境	価値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	203	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	395	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	398	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	34.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	- PX(10) () (V)	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	尔	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	86,339.7	45.00	3,885.3	0.0136	193.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	288.0	36.70	10.6	0.0185	0.7
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	410,191.0	9.76	4,003.5	0.4890	200.6
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 7,899.3		¹⁵ 395.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,906.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			m^3	5,500.0	/		0.4000	2.2
		合 計				/			¹⁶ 3.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
不 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	写二/	小学	校												
業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	3	8								
				₹	1	9	0	_	0	0	1	2	区ī	市町	村。	名 東	京都立	川市			
業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	曙町	Г3—:	23-	1											
業所等	争の変	延床面	ī積		6	,924	.00	m^2									1年	度分] 1	年未満
有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁										
告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)			建物の)一部	『(そ	の他	<u>扣</u>)
生 猝 匪	$D \rightarrow$	たる日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	う販)			商業旗	起設()	飲食	<u> </u>	
口軋匠	リリナ	につけ	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他	1			
おける	細り	う類 番	号	8	1	2	1			(事)							〕加盟	店		■ 身	丰該当
生可育	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況						_		再生 気の	.可能 受入	ニエネ	バルギ	一電				る環境	竟価	値
			容点																		
	業業告本お生年業所有囲標でででででででででののででののででのの <t< td=""><td>業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年</td><td>業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 本 標 る 細 エ エ オ と 大 で 3 番 さ 、 大 で 4 番 さ で ま 類 よ ち て ま 質 4 ち で ま ま れ よ て ま な こ ま か ま た る 日 で ま ま か よ こ で ま ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か</td><td>業所番号 業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の対象が表する。 生間の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の容</td><td>業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香塩囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 2000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100</td><td>業所番号A 1 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 告 範囲の主たる用途 ■ 建物 告 範囲の主たる用途 □ 工場 本標準産業分類番号 8 1 本標準産業分類番号 8 1 本標準度が担ぎている。 再生 おける細分類番号 8 1 年度の報告内容</td><td>業所番号A 1 0 業所等の所在地</td><td>業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 町以 名番地 以 名番地 以</td><td>業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 以</td><td>業所番号A 1 0 1 3 一 業所等の所在地 以 8 番地 以 8 番地 以 8 番地 関 1 9 0 一 0</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地</td><td>業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 1 業所等の所在地 町 名 番 地</td><td>業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 1 2 業所等の所在地 町名番地 以</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 1 2 区 1 業所等の延床面積</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町 関本</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 大のでは、 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 大のでは、 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 「 2 1 事業所等の実績年度では、スルギー使用期間を指摘しています。」 「 2 2 1 事務所 日本には、「 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村名 東 町 名番地 以 下</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村名 東京都立 町 名番地 以 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年月 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の 古</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 町 A 番地 以</td><td>業所番号A1013-0038 業所等の所在地 町名番地 以</td><td>業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 〒</td></t<>	業 所 等 の 発 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 本 標 る 細 エ エ オ と 大 で 3 番 さ 、 大 で 4 番 さ で ま 類 よ ち て ま 質 4 ち で ま ま れ よ て ま な こ ま か ま た る 日 で ま ま か よ こ で ま ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	業所番号 業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の対象が表する。 生間の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 素所等の延床面積 香塩囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 2000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	業所番号A 1 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 告 範囲の主たる用途 ■ 建物 告 範囲の主たる用途 □ 工場 本標準産業分類番号 8 1 本標準産業分類番号 8 1 本標準度が担ぎている。 再生 おける細分類番号 8 1 年度の報告内容	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 町以 名番地 以 名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 以	業所番号A 1 0 1 3 一 業所等の所在地 以 8 番地 以 8 番地 以 8 番地 関 1 9 0 一 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 1 業所等の所在地 町 名 番 地	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 1 2 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 1 2 区 1 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町 関本	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 大のでは、 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 大のでは、 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村2 「 2 1 事業所等の実績年度では、スルギー使用期間を指摘しています。」 「 2 2 1 事務所 日本には、「 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3 3	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村名 東 町 名番地 以 下	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 1 2 区市町村名 東京都立 町 名番地 以 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年月 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 □ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の 古	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 業所等の所在地 町 A 番地 以	業所番号A1013-0038 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 8 〒

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 87	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 177	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 179	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 25.5	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	24,675.8	45.00	1,110.4	0.0136	55.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	180.0	36.70	6.6	0.0185	0.4
び熱	その他(A重油)		L	9,400.0	39.10	367.5	0.0189	25.5
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	196,521.0	9.76	1,918.0	0.4890	96.1
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 3,402.6		¹⁵ 177.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,398.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,398.0	/		0.4000	1.8
		合 計							¹⁶ 2.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	第三/	小学	校											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	3	9							
					Ŧ	1	9	0		0	0	2	2	区	市町	村	名	東京都立川市	1		
事	業所	等の	所在	地	町:以	名 番	F 地 下	錦町	Γ3−-								-				
事	業所等	多の多	延床面	ī積		6	,291	.00	m^2			「等 レギ			責 年 用		の 間	■ 1年度分	[1	年未満
所	有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	テナン	/ト)			建物の一	部(そ	その作	也)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	物販)			商業施設	(飲1)	
羊区	口即进	(ノ土	こでの月	力还		工場	<u>=</u>					複合	施	設				その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営			□ 加盟店	I	■ ∌	丰該当
再の	生可能	ピエノ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	ミエネ	ベルギ	一電	ı	□ 証書によ の利用	:る環	境価	値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 83	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 165	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 6	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 171	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 26.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	1011=010	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦		(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	27,979.8	45.00	1,259.1	0.0136	62.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	4,900.0	39.10	191.6	0.0189	13.3
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	183,320.0	9.76	1,789.2	0.4890	89.6
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし(直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,239.9		165.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	9,593.0			0.2660	2.6
他	公共下水道			m^3	9,593.0	/		0.4000	3.8
		合 計				/			6.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 18 1 (2.24)			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	5四/	小学	校													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	0									
	_				₹	1	9	0	-	0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京都	立川市	1		
事	業所	等の	所在	地	町以	名番	予地 下		:見町														
事	業所等	等の3	延床面	ī積		6	,469	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	了等 レギ	の 	実 <i>終</i> 使	漬 [年 月:		の間	■ 15	F度分		<u> </u>	年未満
所	有		形	態		自己	1所7	j		〕他	1者列	桁											
報	告		範	囲		建物	カの全	产部		〕建	物の)—₽	部(ラ	ーナ	ント	.)			〕建物	10)— <u>7</u>	邹(-	その	他)
却	北	I n i	ナーフロ	1 ンク		事務	鲚					商業	纟施言	没(4	物則	反)			〕商業	施設	(飲	食)	
半収	告範囲	り土	:/この月	1 述		工場]					複合	施	没					■ その	他			
	本 標 おける	細	分類番	号	8	1	2	1	連	鎖化	/事業	美区 2	分		Œ	[営	店		□加	盟店		■ 3	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電	Ĺ		書によ 利用	る環	境価	i値
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 81	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 162	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 6	t
	総計(④=②+③)	^④ 168	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 25.0	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	28,668.1	45.00	1,290.1	0.0136	64.3
燃料	その他(LPG)			kg	20.7	50.80	1.1	0.0161	0.1
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	5,600.0	39.10	219.0	0.0189	15.2
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	170,460.0	9.76	1,663.7	0.4890	83.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,173.8		162.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	10,072.0			0.2660	2.7
他	公共下水道			m^3	10,072.0	/		0.4000	4.0
		合 計							6.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	第五/	小学	校												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	4	1								
					₹	1	9	0	_	0	0	1	1	区ī	† 町	村。	名身	京都立	川市			
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	F 地 下	高松	、町1	-12	-25	5					-					
事	業所等	節の変	延床面	ī積		6	,998	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	■ 1年度	度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	郭(ラ	ーナン	√ ト)			建物の	一部	(その	り他)	
华口	告範囲	の主	・たて日	日次		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業施	設(食	欠食)		
羊区	口軋团	ひ土	こでの月	力还		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没				その他	ı			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営		[□ 加盟	店		非詞	亥当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ルギ	一電		コ 証書 の利	による 用	環境	価値	
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 121	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	236	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	^③ 5	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 241	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 33.7	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	// /	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	36,405.2	45.00	1,638.2	0.0136	81.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	36.0	36.70	1.3	0.0185	0.1
び熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	315,803.0	9.76	3,082.2	0.4890	154.4
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,721.8		236.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	7,572.0			0.2660	2.0
他	公共下水道			m^3	7,572.0			0.4000	3.0
		合 計				/			5.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	5六/	小学	校													
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	2									
				₹	1	9	0	_	0	0	2	1	区	市	町	村	名	東京都	立川市	ĵ		
業所	等の	所 在	地	町以	名 番	予地 下	羽衣															
業所等	等の)	延床面	ī積		6	,085	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レギ	の 	実 <i>i</i> ・使	績 [〕	年 制 :	度期	の間	■ 1年	三度分			1年未満
有	-	形	態		自己	1所7	有		〕他	1者列	桁											
告	1	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ	ント	、)			〕建物	() → L E	郭(-	その	他)
北 然 国	I	- ナ- フ ロ			事務	新					商業	纟施言	没(5	物质	灰)			〕商業	施設((飲:	食)	
古軋世	リリノユ	こにつ月	力述		工場]					複合	施	設					その	他			
おける	5細2	分類番	号	8	1	2	1			/事業	業区 :	分		l <u>I</u>	直営	店		□加	盟店			非該当
生可能 利	能工 用	ネルキ 状	デー						_					ネル	ギ	一電				る環	境征	近
			容点		·				·													
	業業告本お生年業所有毎標項ででで<	業 所 等 の 業 無 が 手 本 お 生 年 本 お 生 年 本 お 生 年 の 連 都 工 用 を ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま 産 が ま の ま で ま の ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形 年 告 範 田 を 産 会 類 ル 状 生 可 利 に 用 報 告 内 年 度 の 報 告 内	業所番号 業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告節囲の主たる用途 を変類が表別の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の容	業所番号A 業所等の所在地 「T 」 「以 業所等の延床面積 ■	業所番号A 1 業所等の所在地 町以 素所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 苦	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「 1 9 0 町以 名番地 下 3 4 番地 下 3 4 番地 下 4 番地 下 4 番地 下 4 番地 下 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 1 「T 1 9 0 1 「T 2 番 地 「以 3 番 地 「以 4 番 地 「以 5 番 地 「	業所番号A 1 0 1 3 一 業所等の所在地 以 A 番地 以 B 可名 T 2 1 連鎖化 本標準産業分類 8 1 2 1 重鎖化 本標準産業分類 8 1 2 1 重鎖化	業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 2 野所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 1 T 3 - 0 0 4 T 1 9 0 - 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 2 1 T 3 - 0 0 0 4 T 4 - 0 0 0 2 1 T 5 - 0 0 0 0 2 1 T 5 - 0 0 0 0 2 1 T 5 - 0 0 0 0 2 1 T 7 1 0 0 0 0 2 1 T 7 1 0 0 0 0 2 1 T 8 T 7 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 7 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 0 0 2 1 T 8 T 8 T 8 T 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 2 1 区 町 名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 1 区市 町 名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 1 区市町 T A 番地以 羽衣町2-29-22 業所等の延床面積 6,085.00 m² 事業所等の実績年 エネルギー使用 有 形態 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ を動の一部(テナント) 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販)□ 工場 □ 商業施設(物販)□ 工場 □ 複合施設 本標準産業分類 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営 おける細分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営 を可能エネルギー利用状況 □ 再生可能エネルギー 気の受入	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 1 区市町村 T A 番 地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 1 区市町村名 町 名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 2 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 1 区市町村名 東京都芸術等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 1 区市町村名 東京都芸術等の所在地 「 2 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年	業所番号A1013-00042 業所等の所在地 町 名番地 以 オネ町2-29-22 業所等の延床面積 6,085.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分	業所番号A1013 - 0042 業所等の所在地 町 名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以名番地 以	業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 4 2

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 93	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 4	t
	総計(④=②+③)	^④ 185	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 29.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			灰用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	23,504.2	45.00	1,057.7	0.0136	52.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	80.0	36.70	2.9	0.0185	0.2
び熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
が:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	262,035.0	9.76	2,557.5	0.4890	128.1
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,618.1		181.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	6,104.0			0.2660	1.6
他	公共下水道			m^3	6,104.0	/		0.4000	2.4
		合 計				/			⁽¹⁶⁾ 4.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	 度の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	手七/	小学	校													
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	3									
				₹	1	9	0	_	0	0	2	2	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
業所	等 σ.	所 在	地	町以	名番	F 地 下	錦町	ſ5-(6-4	3												
業所等	等の タ	延床面	ī積		4	,872	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の : 	実 <i>i</i> ・使	績	年 用;			■ 1年月	度分] 1 ^左	F未満
有		形	態		自己	引所不	有		〕他	者別	桁											
告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ	ン	(-)]建物の)一部	3(そ	の他	ī)
生 盔 匣	I D F	・チェロ	1 冷		事務	丽					商業	纟施言	没(5	物	坂)] 商業施	設(1	飲食	()	
古軋世	リワユ	こにの月	力述		工場	<u>크</u>					複合	施	設					▮その他	Ĺ			
おける	細	分類番	号	8	1	2	1			(事業	美区 2	分		ļ	直営	店		□ 加盟	店		非	該当
生可能	能工 用	ネルキ 状	· 況						_					ネノ	レギ	一電	Ĺ			5環境	竟価値	直
			容点																			
	業業告本お生年業所有毎標 る 前ま度度	業 所 等 の 業 無 本 お 生 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 有 形	業所番号 業所等の所在地 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形態 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の主たる用途 本だは可能の対象が表する。 生間の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の報告の容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 素所等の延床面積 者	業所番号A 1 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 告 範囲の主たる用途 ■ 建物 告 範囲の主たる用途 □ 工場 本標準産業分類番号 8 1 本標準産業分類番号 8 1 本標準度が担ぎている 本だける細分類番号 8 1 年度の報告内容	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「 1 9 0 町以 4,872.00 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 1 「T 1 9 0 1 「T 2 番 地 以 3 番 地 以 4,872.00 m²	業所番号A 1 0 1 3 - 〒 1 9 0 - 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 2 町 名 番 地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 2 業所等の延床面積 4,872.00 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラロー) は合施語 告 範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 演合施語 本標準産業分類 8 1 2 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 再生可能エネルギー 列 用 状況 □ 再生可能エネルギー 列 用 状況 □ 有生可能エネルギー 可 気の受力 年度の報告内容	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 2 2 区 町 名番地 以 部下	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 2 区市 町 名番地 以 事業所等の実績 エネルギー使り 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 「 事務所 □ 複合施設 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 気の受入 年度の報告内容	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 2 区市町 ボー が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 2 2 区市町村 T A 番 地 以 事業所等の実績年度	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 2 2 区市町村名 町 名番地 以 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 「 事務所 □ 商業施設(物販) □ 接合施設 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー 利用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 意の受入 年度の報告内容	業所番号A1013-0043 業所等の所在地 ボースを選出する。 「	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 業所等の所在地 町 名番地 以 4,872.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 有 形態 ■ 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 事務所 □ 虚物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類おける細分類番号 生可能エネルギー 利用状況 年度の報告内容	業所番号A1013-0043 業所等の所在地 町名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 3 〒

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 66	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	(4) 131	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 26.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	26,294.9	45.00	1,183.3	0.0136	59.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	150.0	36.70	5.5	0.0185	0.4
び熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	143,233.0	9.76	1,398.0	0.4890	70.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 2,586.7		129.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,755.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,755.0	/		0.4000	1.5
		合 計				/			¹⁶ 2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 18 1 (2.24)			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	华	の名	称	4 1	山市	计 笙	至八)	小学:	校													
	* //	-11-	V 7 1	, lv 1.	-11-)	11111	<u></u> ://	J / C /	1.1														
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	4									
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	0	2	区	市	町	村	名	東京都立	加市			
事	業所	等 の	所在	地	町夕以	名 番	地下	幸町	T2-														
事	業所等	争の多	延床面	〕 積		8	,149	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の : 	実 <i>終</i> 使	漬 [年 月!	度期	の 間	■ 1年	度分		☐ 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	引所不	旨] 他	1者列	悀											
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナ、	ント	·)			〕建物の	の一音	阝(そ	の他	<u>µ</u>)
北口	上 然 国	I	- ナ- フロ	3 \A		事務	新					商業	纟施調	没(4	物則	反)			〕商業加	施設(飲食	ŧ)	
半以	告範囲	V) ±	こだるカ	力述		工場	<u>司</u>					複合	施	没					■ その他	拉			
	本 標 おける	細	分類番	号	8	1	2	1	連	鎖化	/事業	美区 2	分		匪	宜営	·店		□ 加盟	显店	ı	■ 非	該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電		□証書の利	i 引用	5環!	境価値	直
前か	年度らの			容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 110	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	215	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	4 218	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 26.3	$kg-CO_2/m^2$

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	田東子小川	推計			1元 半4	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の出	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	32,970.7	45.00	1,483.7	0.0136	74.0
燃料	その他(LPG)			kg	43.4	50.80	2.2	0.0161	0.1
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	288,303.0	9.76	2,813.8	0.4890	141.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,299.7		⁽¹⁵⁾ 215.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,553.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,553.0	/		0.4000	1.8
		合 計				/			3.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業	所 等	こ の	名 称	立力	川市	立第	寛九/	小学	校													
業	所	番	新 号	A	1	0	1	3	_	0	0	4	5									
				₹	1	9	0		0	0	3	2	区	市	町	村	名	東京都立	川市			
業別	千等	の所	在地	町。以	名 番	* 地下	上砂															
業所	等の	延床	で面積		6	,487	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の <u>:</u> _	実績使	績 [月	年 月:			■ 1年月	度分] 1	年未満
. ;	有	形	態		自己	1所1	有] 他	1.者所	斤有											
	告	範	井		建物	物の全	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	ーナ	ント	.)] 建物の)一部	ડ(સ્	の 作	也)
生卒	田の	ナたこ	ス田冷		事務	新					商業	き施 き	没(4	物則	反)			〕商業旗	起設()	飲食	E)	
口里	囲り	土/これ	り用座		工場	<u>ヨ</u>					複合	产施言	設					▮その他	1			
おけ	る細	分類	番号		1	2	1	連	鎖化									□ 加盟	店		■ ∌	丰該当
									_					ネル	ギ	一電				環境	竟価	値
年度ら																						
	業 業 告 本お生 年	業 所 等 の 告 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	業 所 番 業 所 等 の 所 業 所 等 の 延 房 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た を 生 利 ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有 形 飯 告 範囲の主たる用途 告 範囲の主たる用途 本標3細分ネボス 生可能用 銀号 上でする報告 を で 報告内容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 業所等の延床面積 者 態	業所番号A 1 業所等の所在地 ボース 4 ボース	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「 1 9 0 町以 4 番地 上砂 以 5 6,487.00 業所等の延床面積 6,487.00 者 形態 自己所有	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 1 TT 2 番地 上砂町2 業所等の延床面積 6,487.00 m² 有 形態 自己所有 □ 建物の全部 □ 事務所 □ 工場 本標準産業分類 8 1 2 1 連 本標準産業分類番号 8 1 2 1 連 本標準産業分類番号 8 1 2 1 連 本標準産業分類番号 8 1 2 1 連 本標準産業の報告内容	業所等の所在地 町 名 番 地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 3 # 所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 業所等の所在地 ボース 番 地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 2 区 町 名番地 以 上砂町2-18-1 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市 以 4 番地 以 5 単 上砂町2-18-1 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町 以 4 番地 以 5 地町2-18-1 業所等の延床面積 6,487.00 m² 事業所等の実績年	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村 T 2 番 地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村名 町 名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村名 東京都立 町 名番地 以 5 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年月 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 量物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業が コエ場 □ 複合施設 ■ その他 本標準産業分類 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟 生可能エネルギー 利 用 状況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ 証書 の利	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 4 5 業所等の所在地 町 2 番 地 以	業所番号A1013-0045 業所等の所在地 町 名番地 以 A番地 以 Bで B B B B B B B B B B B B B B B B B B	業所番号A1013-0045 〒 1907-18-1 乗所等の所在地

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	22 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	37 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2 t
	総計(④=②+③)	4 2	39 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 36	$6.5 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	1241=2421441	田東子小山	推計		//. H I	e-vier	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	28,034.0	45.00	1,261.5	0.0136	62.9
燃料	その他(LPG)			kg	58.5	50.80	3.0	0.0161	0.2
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	357,274.0	9.76	3,487.0	0.4890	174.7
規則]第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,751.5		⁽¹⁵⁾ 237.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,267.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,267.0	/		0.4000	1.3
		合 計							2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立第	5十/	小学	校										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	6						
	_				Ŧ	1	9	0	-	0	0	0	4	区ī	† 町	村名	東京都立川	市		
事	業所	等 σ _.	所 在	地	町以	名 番	予地 下	柏町	ſ1−:	31-	1									
事	業所等	争の	延床面	ī積		5	,384	.00	m^2		業 ア ネ ル				責年 用 其	度 <i>₫</i> 朝 間		分	□ 1 ²	年未満
所	有		形	態		自己	1所7	j] 他	1者列	桁								
報	告		範	囲		建物	物の全	产部		〕建	物の)— [₽]	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の-	-部(>	その化	<u>巾</u>)
共口	北	I か →	ーたフロ	口冷		事務	新					商業	(施	没(物	加販)		□ 商業施設	と(飲:	食)	
羊区	告範囲	リリノユ	こにつり	力述		工場	景					複合	施調	没			■ その他			
	本 標 おける	細	分類種	号	8	1	2	1	連	鎖化	/事業				直営		□ 加盟店	i	■ 非	丰該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 試設備			_		再生 気の			ルギー	一電	□ 証書に の利用	よる環	:境価	値
前か	年度らの			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 46	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	^② 95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	<a>96	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 17.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	12,410.9	45.00	558.5	0.0136	27.9
燃料	その他(LPG)			kg	47.3	50.80	2.4	0.0161	0.1
及	その他(灯油)			L	300.0	36.70	11.0	0.0185	0.7
び熱	その他(A重油)		L	7,500.0	39.10	293.3	0.0189	20.3
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	94,668.0	9.76	924.0	0.4890	46.3
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,789.1		95.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,420.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,420.0	/		0.4000	1.0
		合 計							1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立西	砂	小学	校												
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	8								
					Ŧ	1	9	0		0	0	3	4	区	† 町	村。	名 東京	京都立川	川市			
事	業所	等の	所在	地	町:以	名 番	f 地 下	西砂)町2	-34	-2											
事	業所等	争の変	延床面	ī積		6	,567	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	1年度	分		1年未	満
所	有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)一岩	郭(ラ	ーナン	√ ト)			建物の-	一部	(その)他)	
华口	告範囲	$D \rightarrow$	たる日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)			商業施	設(食	欠食)		
常区	口軋匠	リリナ	につけ	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没			= 2	その他				
に	本 標 おける	細り	う類 番	号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営			加盟	店		非該旨	当
再の	生可育	とエノ 用	ネルキ 状	· 況				ミエネ 背の設	ルギ 世	_		再生 気の	.可能 受入	ニスネ	ルギ	一電		証書に の利用		環境	価値	
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 82	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 159	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 161	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 24.2	$kg-CO_2/m^2$

		田東子小川	推計		/ -	H W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	30,836.3	45.00	1,387.6	0.0136	69.2
燃料	その他(LPG)			kg	98.3	50.80	5.0	0.0161	0.3
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	184,672.0	9.76	1,802.4	0.4890	90.3
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,195.0		159.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,963.0			0.2660	1.1
他	公共下水道			m^3	3,963.0			0.4000	1.6
		合 計							2.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1庄			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	7 / 1 4/.																				
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立南	砂	小学	校											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	4	9							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	0	3	区ī	市町	村。	名 東京都	立川市	ĵ		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地 下	栄町	J2-								_				
事	業所等	等の)	延床面	ī積		5	,273	.00	m^2		業			実 績 使	責年 用:	度 (期	り 間 ■ 14	年度分] 1 ⁴	年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	者原	桁									
報	告	1	範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物	初の一言	部(そ	の他	1)
土口	光然 国	I	- ナ- フロ	口公		事務	新					商業	(施	没(物	り販)		□ 商業	き施設(飲食	<u>;</u>)	
羊区	告範囲	リクノゴ	こにつ月	日述		工場	景					複合	施	没			■ その	他			
	本 標 おける	6細	分類番	号号	8	1	2	1	連	鎖化	么事美				直営		口加	盟店		■非	該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 记			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の	可能受入	:エネ 、	ベルギ	一電		:書によ :利用	る環境	竟価値	直
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 43	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 84	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 15.7	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	1011=010	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	12,872.9	45.00	579.3	0.0136	28.9
燃料	その他(LPG)			kg	40.7	50.80	2.1	0.0161	0.1
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	112,337.0	9.76	1,096.4	0.4890	54.9
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,677.8		¹⁵ 83.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,523.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,523.0	/		0.4000	1.0
		合 計				/			1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	3 /10//		- 100																			
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立君	葉	台小	学校	ζ											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	5	0								
					Ŧ	1	9	0		0	0	0	1	区	市	町	村	名	東京都立川市	ī		
事	業所	等の	所 在	地	町以以	名 番	i 地 下	若葉	美町1-	-13-1	l											
事	業所等	多の変	正床面	〕 積		10	,597	.00	m^2		業							の間	■ 1年度分	[] 1	年未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの生	全部] 建	物の)—‡	郭(ラ	・ナ	ント)			〕建物の一∺	部(そ	<u>-</u> のf	也)
共口	告範囲	σ	たフロ	1 ンク		事務	歽					商業	纟施言	没(‡	勿則	<u>(</u>] 商業施設	(飲食)	
羊区	古軋出	の土	バシカ	力述		工場	∃ 7					複合	施	設					その他			
に	本 標 おける	細り	}類番	号	8	1	2	1		鎖化	と事 美	業区 2	分		直	[営	店		□ 加盟店	ı	■ ∌	卡該当
再の	生可能	ピエン 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネル	ギー	一電		□ 証書によ の利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	104	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	202	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 204	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 19.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	27,465.6	45.00	1,236.0	0.0136	61.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	287,771.0	9.76	2,808.6	0.4890	140.7
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					4,044.6		202.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,076.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	3,076.0	/		0.4000	1.2
		合 計				/			2.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 18 1 (2.24)			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業月	听 等	の名	称	立丿	川市	立幸	小鱼	学校													
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	1								
				Ŧ	1	9	0	-	0	0	0	2	区	市	町	村	名	東京都立川	市		
業所	等の	の所を	王 地	町以	名 番	*地 下	幸町										_				
業所	等の	延床	面積		6	,669	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ¾ · 使	漬 [年 月:	度期	の間	■ 1年度2	分		1年未満
1	有	形	態		自己	引所和	有] 他	1.者页	斤有										
<u> </u>	<u></u>	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	テナ、	ント	·)			〕建物の−	一部	(その)他)
生 纮 [田 の -	ナたて	田冷		事務	新					商業	き施言	没(4	物則	反)] 商業施設	殳(飲	(食)	
口里山	<u>ガ</u> マノ <u>-</u>	土たる)	巾坯		工場	型 勿					複合	产施言	設					●その他			
おけ	る細	分類	番号	8	1	2	1	連	鎖化	(事)								□ 加盟區	11		非該当
生可	能 エ 用	ネル: 状	ギー 況						_					ネル	ギ	一電	Ì			環境	価値
			勺 容点																		
	業 業 業 告 本お生 年	業 所 等 6 本お生 年 本お生 年 年 本お生 年 年 本お生 年 年 年 本 2 年 年 年 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4 年 4	業 所 番 業 所 等 の 所 る 業 所 等 の 延 床 i 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 本 標 章 無 分 ネ 、 大 生 可 能 用 よ 生 可 能 用 ま の 報 告 i	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で、 年間の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の所在地 以 業所等の延床面積 有 形 態 ■	業所番号A 1 業所等の所在地 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 T A 番 地 以 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有 告 範 囲 建物の全部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 8 1 2 1 年可能エネルギー 別用 状 況 「再生可能エネルギー和用 状 況 日本電設備の設	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 1 9 0 - T 2 1 0 T 3 T 3 T 3 T 1 9 0 T 3 T 3 T 3 T 3 T 4 T 5 T 5 T 5 T 5 T 5 T 5 T 7 T 1 9 0 T 5 T 7 T 1 9 0 T 5 T 8 T 5 T 5 T 7 T 1 9 0 T 5 T 8 T 5 T 5 T 7 T 7 T 7 T 5 T 7 T 7 T 7 T 7 T 7 T 7 T 7 T 7 T 7 T	業所番号A 1 0 1 3 一 業所等の所在地 以 A 番地 以 B 幸町5-68- 業所等の延床面積 6,669.00 m² 事 者 形態 自己所有 □ 他 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の全部 □ 建物の全部 □ 理 告範囲の主たる用途 □ 非務所 □ 工場 □ 工場	業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 業所等の所在地 町名番地 以 幸町5-68-1 業所等の延床面積 6,669.00 m² 事業所等 エネルギー 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 おける細分類番号 生可能エネルギー 利用状況 年度の報告内容	業所等の所在地 デ 1 9 0 - 0 0 2 業所等の所在地 町名番地 以 ** 「 1 9 0 - 0 0 0 2 業所等の延床面積 6,669.00 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 0 2 区 町 名番地 以 幸町5-68-1 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 0 2 区市 「 1 9 0 - 0 0 0 2 区市 「 3 番 地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 0 2 区市町 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 0 2 区市町村 T 1 9 0 - 0 0 0 2 区市町村 T 3 年 世 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 0 2 区市町村名 町名番地 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 0 2 区市町村名東京都立川 町 名番地 以 年町5-68-1 業所等の延床面積 6,669.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 量物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(をサント) □ 建物の一部(をサント) □ 建物の一部業施設(物販) □ 商業施設はのおり類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟品 おける細分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟品 日	業所番号A1013-0051 業所等の所在地 町名番地 以名番地 幸町5-68-1 業所等の延床面積 6,669.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 有 形態 ■ 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲 本標準産業分類おける細分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 生可能エネルギー利用 状況 □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書によるの利用 年度の報告内容	業所番号A1013-0051 業所等の所在地 「T 190-0002 区市町村名東京都立川市 「T 190-0002 区市町村名東京都立川市 「T 190-0002 区市町村名東京都立川市 「T 190-0000 m² 事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 1年度分 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その世帯) □ 産物の一部(テナント) □ 建物の一部(その世帯) □ 産物の一部(テナント) □ 産物の一部(その世帯) □ 産業施設(飲食) □ 商業施設(飲食) □ 商業施設(飲食) □ 存金施設 □ その他 本標準産業分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 □ おける細分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 □ 和盟店 □ 年度の報告内容

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 105	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 15.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		可要 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	11,532.2	45.00	518.9	0.0136	25.9
燃料	その他(LPG)			kg	624.1	50.80	31.7	0.0161	1.9
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(A重油)		L	5,500.0	39.10	215.1	0.0189	14.9
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	123,662.0	9.76	1,206.9	0.4890	60.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,972.6		103.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,638.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,638.0	/		0.4000	1.5
		合 計				/			2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業〕	折 等	の名	3 称	立丿	川市	立杉	や中	小学	校													
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	2									
				₹	1	9	0	ı	0	0	3	3	区	市	町	村	名	東京都立川	市			
業別	等(の所で	生地	町以	名 番	新地 下	一番										-					
業所	等の	延床	面積		6	,843	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 ¾ · 使	漬月	年];			■ 1年度2	分		1年未	満
7	有	形	態		自己	1所7	有] 他	1.者页	斤有											
2	告	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— <u>‡</u>	郭(ラ	テナ、	ント)			〕建物の−	一部	(その)他)	
生体	田の-	ナたて	田冷		事務	新					商業	き施言	没(4	物則	叉)] 商業施設	殳(飮	(食)		
口甲山	<u> </u>	土たる。	用壓		工場	型 勿					複合	产施言	設					●その他				
おけ	る細	分類	番号	8	1	2	1	連	鎖化	(事)								□ 加盟區	ij		非該当	当
	能エ 用	ネル: 状	ギー 況						_					ネル	ギ	一電	Ì			環境	価値	
年度ら																						
	業 業 告 本お生 年	業 所 等 の 等 の 年 を は で の ま で の ま で か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	業 所 番 業所等の所で 業所等の延床 有 形 告 範 告 範 告 範 生 産 業類 生 利 用 またる 本 だけ可能 用 またる 生 で 報 告 に 乗 の 報 告 に の 報 告 に の 報 告 に	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標準細分れ、状 生可能用 生可能用 年度の報告内容	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 素所等の延床面積 有 形態 告 範囲の主たる用途 告 範囲の主たる用途 告 本標 産業類 表別の表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表	業所番号A 1 業所等の所在地 デ 1	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「□ 1 9 0 町以 4 番 地 □ 以 5 番 地 □ □ 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有 告 範 囲 連物の全部 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 8 1 2 1 年度の報告内容	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 T 1 9 0 0 T 1 9 0 0 T 1 9 0 0 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 3 T 3 T 1 9 0 0 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3 T 3	業所等の所在地 〒 1 9 0 − 0 ボア等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 2 3 mm	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 3 業所等の延床面積	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 2 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 3 区 「 1 9 0 - 0 0 3 3 区 「 1 9 0 - 0 0 3 3 区 「 2 事業所等の実施である。」 素所等の延床面積 6,843.00 m² 事業所等の実施である。 「 2 事務所 □ 他者所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ を動の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設のをおりまたる用途 □ 事務所 □ 商業施設の表述 □ 複合施設 □ なるの受入 本標準産業分類おける細分類番号 8 1 2 1 連鎖化事業区分 □ 再生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー □ 日本・□ □ ロー □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	業所番号A1013-0052 業所等の所在地 T 1901-3-0052 業所等の所在地 T 190-100333 区市 T 190-100333 区市 T 190-100333 区市 T 190-100333 区市 T 190-1000333 区市 T 190-100033	業所番号A1013-0052 業所等の所在地 T 1901-3-0052 業所等の所在地 T 1901-3-8-5 業所等の延床面積 6,843.00 m² 事業所等の実績年 エネルギー使用 ま	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 2 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 3 区市町村 T 1 9 0 - 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 3 - 0 0 0 5 2 T 3 - 0 0 0 5 2 T 3 - 0 0 0 5 2 T 3 - 0 0 0 5 2 T 3 - 0 0 0 5 2 T 3 - 0 0 0 5 2 T 5 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 5 - 0 0 0 3 3 区市町村 T 6 月 1 0 0 0 5 2 T 5 - 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 6 月 2 日 1 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 7 1 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 0 3 3 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 0 3 0 0 区市町村 T 8 日 1 0 0 0 0 0 3 0 0 区市町村 T 9 日 1 0 0 0 0 0 0 3 0 0 区市町村 T 9 日 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 2 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 3 3 区市町村名 「T 1 9 0 - 0 0 3 3 区市町村名 「T 2 番地 以 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告範囲の主たる用途 □ 非物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 持続囲の主たる用途 □ 非務所 □ 商業施設(物販) □ 技計る細分類番号 生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電気の受入 年度の報告内容	業所番号A1013-0052 業所等の所在地 「T1900-00333区市町村名東京都立川町名番地以 「T2000-00333区市町村名東京都立川町名番地以 「T2000-00333区市町村名東京都立川町名番地以 「T2000-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00	業所番号A1013-0052 業所等の所在地 町名番地 以名番地 一番町5-8-5 業所等の延床面積 6,843.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分 有形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲販) □ 商業施設(飲販) □ 商業施設(飲販) □ 商業施設(飲まける細分類番号 日 2 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 生可能エネルギー 利用状況 □ 舞生可能エネルギー 利用状況 □ 有生可能エネルギー電 □ の利用 年度の報告内容	業所番号A1013-0052 ※ 所番号A1013-0052 ※ 所等の所在地 町名番地 以	業所番号A1013-0052 *** 所番号A1013-0052 *** 下 190-0033 区市町村名 東京都立川市 *** 丁 190-003 3 区市町村名 東京都立川市 *** 丁 1

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 58	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 16.9	kg-CO ₂ /m ²

	- PX(10) () (V)	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(不致 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,659.3	45.00	659.7	0.0136	32.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	160.0	36.70	5.9	0.0185	0.4
び 熱	その他(A重油)		L	4,200.0	39.10	164.2	0.0189	11.4
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	146,705.0	9.76	1,431.8	0.4890	71.7
規貝	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,261.6		116.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,245.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,245.0	/		0.4000	1.3
		合 計							¹⁶ 2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	立丿	川市	立大	:山/	小学	校														
業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	3										
				₹	1	9	0	_	0	0	3	2	区	市	町	村	名	東京都	『立川	市			
業所	等の	所 在	地	町夕以	名番	F 地 下	上砂																
業所等	争の変	延床面	ī積		6	,166	.00	m^2	事	業 所 ネ ル	r 等 レギ	の : 	実 使	績	年 刊 :	度期	の間	1	年度分	जे] 1 ⁴	年未満
有		形	態		自己	引所有	有		〕他	1者列	桁												
告		範	囲		建物	カの含	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ン	\)			〕建物	勿の一	-部	(そ	の他	1)
生 盔 匣	ı n 🛨	・たて日	1 冷		事務	丽					商業	纟施言	没(物	坂)			〕商氵	集施 認	足(食	欠食)	
口即进	リマノ土	:/この/t	1 还		工場	<u>ヨ</u> ガ					複合	施	没					そ の	つ他				
おける	細り	分類番	号	8	1	2	1			/事業	美区 2	分		ļ	直営	店		□ t	中盟店	i		非	該当
生可能	もエノ 用	ネルキ 状	· 况						_					ネノ	レギ	一電	i			よる	環境	色価値	直
			容点				·		·	·													
	業業告本お生年業所有告歴標でででででがのののののでののの	業 所 業 所 年 本 お 生 年 本 お 生 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 電 告 範 囲 を か 産 か る 所 生 で で を ま 類 ル 状 内 生 可 能 用 の 報 告 内 番 き の 報 告 内	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有所の 一部である 一部である 一部である。 一である。 一でも、 一でも、 一でも、 一でも、 一でも、 一でも、 一でも、 一でも、	業所番号A 業所等の所在地 業所等の延床面積 素所等の延床面積 者	業所番号A 1 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の所在地 町以 名 番 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 告 範囲の主たる用途 ■ 建物 告 離 産業分類 8 1 本標準産業分類 8 1 本標準の報告内容	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「 1 9 0 町以 4 番 地 上砂 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 1 TT A 番地 上砂町1 業所等の延床面積 6,166.00 m² 有 形態 自己所有 日	業所番号A 1 0 1 3 - 〒 1 9 0 - 0 単	業所番号A 1 0 1 3 - 0	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 3 業所等の所在地 町 2 番 地 上砂町1-5-33 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部 告 範 囲 ■ すりのです。 □ は者所有 日 本標準産業分類	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 3 2 業所等の所在地 町名番地 以 上砂町1-5-33 業所等の延床面積 6,166.00 m² 事業所等の エネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラ 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 8 1 2 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 別用 状況 □ 再生可能エネルギー 別用 状況 □ 有生可能エネルギー 別用 状況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 年度の報告内容	業所等の所在地 〒 1 9 0 - 0 0 3 2 区 町 名 番 地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 2 区市 町 A 番 地 以 上砂町1-5-33 業所等の延床面積 有 形 態 自己所有 □ 他者所有 告 範 囲 建物の全部 □ 建物の一部(テナン) 告範囲の主たる用途 本標準産業分類 おける細分類番号 生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー 月 明 表 の受入 年度の報告内容	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町 以	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村 「T A 番 地 以 下 上砂町1-5-33 業所等の延床面積 6,166.00 m² 事業所等の実績年度	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 業所等の所在地 「 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村名 町 名番地 以 上砂町1-5-33 業所等の延床面積	業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 業 所 等 の 所 在 地	業所番号A1013-0053 業所等の所在地 町名番地 以 年 産業分類 おける細分類番号 年度の報告内容	業所番号A1013-0053 下	業所番号A1013-0053 *** 京	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 5 3 〒 1 9 0 - 0 0 3 2 区市町村名 東京都立川市

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 53	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 111	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 112	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 18.0	kg-CO ₂ /m ²

		田玉 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計			4.4.10	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	10,465.0	45.00	470.9	0.0136	23.5
燃料	その他(LPG)			kg	132.2	50.80	6.7	0.0161	0.4
及	その他(灯油)			L	50.0	36.70	1.8	0.0185	0.1
び 熱	その他(A重油)		L	10,300.0	39.10	402.7	0.0189	27.9
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	121,834.0	9.76	1,189.1	0.4890	59.6
規則	第5条の17第3項	夏の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,071.3		111.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,085.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,085.0	/		0.4000	0.8
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	7 / 1 4//																		
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立柞	小雪	学校										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	4					
					Ŧ	1	9	0		0	0	0	4	区ī	市町	村名	五 東京都立川市	Ħ	
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	* 地 下	柏町	ſ4−¦										
事	業所等	等の)	延床面	ī積		7	,184	.00	m^2		業			実 絹 使	責 年 用 ‡	度 <i>0</i> 期 『		· 🗆 1	年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	1.者页	Ff有							
報	告	1	範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一	部(その作	也)
土口	生然 国	I	- ナ フ ロ	口公		事務	新					商業	(施	没(物	り販)		□ 商業施設	(飲食)	
羊区	告範囲	リクノゴ	ニバンカ	日述		工場	<u>크</u>					複合	施	没			■ その他		
	本 標 おける	6細	分類番	号号	8	1	2	1	連	鎖化	么事美				直営		□ 加盟店	■ ∮	非該当
再の	生可能 利	能エ 用	ネルキ 状	· 记			三可能 記設備		ルギ 世	_		再生 気の	可能受入	:エネ 、	ベルギ	一電	□ 証書に』 の利用	くる環境価	値
前か	年度らる		设 告 内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 62	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 124	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 125	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 17.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田東4小川	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
.[+].	都市ガス			Nm^3	12,879.7	45.00	579.6	0.0136	28.9
燃料	その他(LPG)			kg	187.3	50.80	9.5	0.0161	0.6
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	5,000.0	39.10	195.5	0.0189	13.5
75%	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	166,568.0	9.76	1,625.7	0.4890	81.5
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,410.3		124.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,618.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,618.0	/		0.4000	1.0
		合 計							1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立上	一砂	川小	学校	ζ											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	5	5								
					₹	1	9	0	_	0	0	3	2	区ī	市 町	村。	名東	京都立	加市			
事	業所	等の	所在	地	町。以	名 番	地 下	上砂)町5	-12	-2											
事	業所等	争の変	延床面	ī積		6	,286	.00	m^2		業				責年 用:		か 間	■ 1年	度分	[] 1	年未満
所	有		形	態		自己	別所	有] 他	1.者页	桁										
報	告		範	囲		建物	カの 🖆	全部		〕建	物の)—≒	郭(ラ	ーナン	√ ト)			建物の	の一音	阝(そ	<u>-</u> のf	也)
共口	告範囲	$D \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	骄					商業	(施	没(物	加販)			商業加	拖設(飲負	()	
羊区	口軋匠	リリナ	ここの月	1 还		工場	3 7					複合	施	没				その化	乜			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営] 加盟	显店	I	■ ∌	丰該当
再の	生可育	ピエノ 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ルギ	一電		」 証 割 の利	i 用	5環:	境価	値
前か	年度ら			容点																		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 64	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 130	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 20.5	$kg-CO_2/m^2$

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	18,893.3	45.00	850.2	0.0136	42.4
燃料	その他(LPG)			kg	186.7	50.80	9.5	0.0161	0.6
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(A重油)		L	5,700.0	39.10	222.9	0.0189	15.4
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	145,557.0	9.76	1,420.6	0.4890	71.2
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,503.2		129.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,461.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,461.0	/		0.4000	1.0
	-	合 計							1.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
エネ/ 使用: ———————————————————————————————————	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 18 1 (2.24)			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立親	「生/	小学	校											
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	5	6							
					₹	1	9	0	_	0	0	1	3	区ī	† 町	村彡	名 東戸	京都立川	川市		
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	F 地 下	富士	:見町	ſ6−¢	69 –	1									
事	業所等	多の多	延床面	ī積		7	,052	.00	m^2		業				責年 用:		り 間	1年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所1	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	√ ⊦)			建物の-	一部	(その)他)
共口	告範囲	$\phi \rightarrow$	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ Ē	商業施	設(食	欠食)	
羊区	口即进	(ノ土	ここの月	1 歴		工場	<u>=</u> 7					複合	施	没			= 2	その他			
に	本 標 おける	細り	分類 番	号	8	1	2	1		鎖化	(事)				直営			加盟	吉		非該当
再の	生可能	とエノ 用	ネルキ 状	· 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ルギ	一電		証書に の利用		環境	価値
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 83	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 161	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	^④ 164	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⁽⁵⁾ 22.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	35,748.8	45.00	1,608.7	0.0136	80.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	166,819.0	9.76	1,628.2	0.4890	81.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,236.9		161.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,907.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			m^3	4,907.0	/		0.4000	2.0
	-	合 計							3.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	#1 <i>f</i> =			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事業所等の名称 立川市立立川第一中学校 事業所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 5 7 事業所等の所在地 町名番地 以 事業所等の延床面積 所 有 形 態 自己所有 田 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 日本標準産業分類 8 1 3 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 前年度の報告内容からの変更点		7 / 1 - / /																						
事業所等の所在地 「	事	業所	等	の名	称	立丿	川市	<u> 寸</u> 寸		第一	中学	栏校												
事業所等の所在地 「	事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	7									
以							1	9	0	_	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都立	立川市	ĵ		
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有 報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他 日 本 標 準 産 業 分 類 における細分類番号 8 1 3 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値の利用 前 年 度 の 報 告 内 容	事	業所	等 ₫	所在	地		名 番	* 地下	柴崎															
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他) □ 報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他 □ 本標準産業分類における細分類番号 8 1 3 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー電気の受入 □ 証書による環境価値の利用 状 況 □ 有生可能エネルギー電気の受入 □ 前年度の報告内容	事	業所等	等の タ	延床面	ī積		8	,125	.00	m^2	事	業 ア ネ ル	「等 レキ	の :	実 <i>i</i> ・使	績 :	年 刊 :	度期	の 間	■ 1年	度分		<u> </u>	年未満
報告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 工場 □ 複合施設 □ 複合施設 □ をの他 □ 本標準産業分類 における細分類番号 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー の 利 用 状 況	所	有		形	態		自己]所	有		〕他	1者列	斤有											
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 □ 本標準産業分類 における細分類番号 ■ 1 3 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 有生可能エネルギー □ 京の受入 □ 正書による環境価値 の利用	報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	\)			〕建物	() — ^E ^E	郭(-	その	他)
□ 工場 □ 複合施設 ■ その他 日本標準産業分類 8 1 3 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当 再生可能エネルギー の 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 気の受入 □ 証書による環境価値 の利用 前年度の報告内容	扣	生	I M F	- たて日	1 1/2		事務	所					商業	纟施	没(5	物	坂)			〕商業	施設((飲:	食)	
における細分類番号 8 1 3 1 単類化事業区分 □ 直宮店 □ 加温店 ■ 非該当再生可能エネルギーの 利 用 状 況 □ 再生可能エネルギー □ 有生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値の利用 財 況 □ 新年度の報告内容	羊区	口軋匠	リマノゴ	こにの月	1 还		工場	<u>司</u>					複合	施	設					し その	他			
の 利 用 状 況 [□] 発電設備の設置 [□] 気の受入 [□] の利用 前 年 度 の 報 告 内 容	に	おける	細	分類番	号	8	1		1			/事業	業区?	分		اً ا	直営	店		□ 加.	盟店		= 3	非該当
	1										_					ネバ	レギ	一電				る環	:境価	i値
							·	·					·											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	71	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	144	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	146	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 1	7.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	21,878.3	45.00	984.5	0.0136	49.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	50.0	36.70	1.8	0.0185	0.1
び熱	その他(A重油)		L	6,000.0	39.10	234.6	0.0189	16.3
Thi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	160,781.0	9.76	1,569.2	0.4890	78.6
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 2,790.2		144.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,660.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,660.0	/		0.4000	1.5
		合 計				/			2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑰ (原屋のスの他の関係) 日本関本明本の場合するた。)の係者)×1.6

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	7 / 1 7/2																			
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	立立		第二	中学	之校									
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	5	8						
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	2	区间	市 町	村名	東京都立	川市		
事	業所	等 0) 所在	: 地	町。	名番	予 地 下	曙町	J3-											
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		9	,160	.00	m^2		業			実 績 · 使	責年 用	度 <i>0</i> 朝 『		き分		1年未満
所	有	,	形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者页	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	テナン	/ト)		□ 建物の	一部	(その)他)
土口	北然 區	I	- ナ- フ ロ			事務	新					商業	纟施	没(物	,販)		□ 商業施	設(食	欠食)	
羊収	告範囲	リクノユ	こにつ月	力述		工場]					複合	施	設			■ その他			
に	本 標 おける	細	分類番	号	8	1	3	1	連	鎖化	と事 美				直営		□ 加盟	店		非該当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ベルギー	一電	□ 証書の利	による 用	環境(価値
前か	年度らる			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 74	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 147	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	^④ 150	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 16.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	121 - 221 - 221 - 221	田東在小山	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	22,788.9	45.00	1,025.5	0.0136	51.1
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	4,900.0	39.10	191.6	0.0189	13.3
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	169,805.0	9.76	1,657.3	0.4890	83.0
規則	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	⁽⁴⁾ 2,874.4		¹⁵ 147.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,487.0			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	5,487.0	/		0.4000	2.2
		合 計				/			¹⁶ 3.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	#1 <i>f</i> =			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	3 /10//		- 11/2																		
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	<u> </u>		第三	中学	之校										
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	5	9							
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	2	1	区	市町	村	名	東京都立川市	ij		
事	業所	等の	所 在	地	町以以	名番	* 地 下	羽衣	7町3	-25	-6										
事	業所等	争の変	延床面	ī積		8	,980	.00	m^2		業				責 年 用		の 間	■ 1年度分] 1 ⁴	年未満
所	有		形	態		自己	所	有] 他	1.者页	桁									
報	告		範	囲		建物	り の <u> </u>	全部] 建	物の)—‡	部(ラ	ーナン	/ ト)			〕建物の一∺	部(そ	の他	<u>µ</u>)
共口	告範囲	$l \rightarrow 1$	ナフロ	1 冷		事務	歽					商業	纟施言	没(物	勿販)] 商業施設	(飲食	£)	
羊区	古軋曲	り土	につけ	力述		工場	<u> </u>					複合	施	没				その他			
に	本 標 おける	細り	う類 番	号	8	1	3	1			と事 美	業区 2	分		直常	常店		□ 加盟店		■ 排	該当
再の	生可能	ピエク 用	ネルキ 状	· 況				エネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ベルギ	一電	Ė	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値	直
前か	年度ら			容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 142	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 144	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 15.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	- PO(100 (0)(4)	-田東4小川	推計		//. H. F.	1 No.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	19,167.8	45.00	862.6	0.0136	43.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	7,500.0	39.10	293.3	0.0189	20.3
2003	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	162,156.0	9.76	1,582.6	0.4890	79.3
規貝	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,738.4		142.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,252.0			0.2660	1.1
他	公共下水道			m^3	4,252.0	/		0.4000	1.7
		合 計				/			2.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	#1 <i>f</i> =			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	3 /1~/		- 100																					
事	業別	デ 等	の名	称	立丿	川市	<u> </u>		第五	中学	솯校													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	6	1										
					Ŧ	1	9	0	-	0	0	3	2	区	市	町	村	名	東京	都立月	川市			
事	業別	等 0	所在	地	町。以	名 番	新地 下	上砂)町3	-27	-1													
事	業所	等の	延床面	 積		9	,149	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の <u>:</u> _	実 <i>i</i> ・ 使	績 [年 則		の 間		l年度	分	[]]	年未満
所	有	Î	形	態		自己]所	有] 他	1者所	ff有												
報	芒	î	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [‡]	部(ラ	ーナ	ン	、)] 建	物の	一剖	ઉ (સ	ーの	他)
却	北 佐日	日のう	こたる月	1 冷		事務	新					商業	き施さ	没(4	物原	反)] 商	業施	設(1	飲飢)	
半区	古軋齿	当マノヨ	こにつけ	力述		工場	景					複合	}施	設					~	の他				
に	おける	る細り	至業分分類番	号	8	1	3	1	連	鎖化	と事業	業区 :	分		l <u>I</u>	直営	店			加盟	店	ı	=	非該当
再の		能 エ 用	ネルキ 状	· 況			三可能 記設備		ルギ 世	_			三可能) 受 <i>入</i>		ネル	ギ	一電	,		証書(の利)		5環	境佃	i値
前か			设 告 内 定 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 101	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	207	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 209	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 22.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		H = 4 5148	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	25,401.8	45.00	1,143.1	0.0136	57.0
燃料	その他(LPG)			kg	3,782.6	50.80	192.2	0.0161	11.3
及	その他(灯油)			L	378.0	36.70	13.9	0.0185	0.9
び熱	その他(A重油)		L	10,000.0	39.10	391.0	0.0189	27.1
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	226,355.0	9.76	2,209.2	0.4890	110.7
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,949.3		207.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,517.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,517.0			0.4000	1.4
		合 計							2.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	3 /1~/		- 100																					
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	<u> </u>	<u>T</u>] {j	第六	中学	栏校													
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	6	2										
Γ.					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	5	区	市	町	村:	名	東京	都立	川市			
事	業所	等 σ ₂	所在	地	町以以	名 番	F 地 下	泉町	ſ786									_						
事	業所等	等の	延床面	ī積		8	,452	.00	m^2	事	業	「等 レキ	の :	実 ; · 使	績	年 用:	度 期	の 間		1年月	度分		1	年未満
所	有	•	形	態		自己]所	有] 他	1者月	桁												
報	告	:	範	囲		建物	カの生	全部	[〕建	物の)—キ	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			建	物の)一音	郛(子	その	他)
起	生给田	i o i	こたる用	1 次		事務	所					商業	纟施言	没(/	物	販)			商	業旗	冠設((飲1	食)	
干区	口里也口	コマノユ	ニノニインハ	1 仮		工場	<u>ヨ</u> ガ					複合	施	没					ーそ	の他	1			
に	おける	5細2	(業分)分類番	号	8	1	3	1			(事業	美区 2	分]	直営	·店			加盟	店		= 3	非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネルキ 状	ž — 況				エネ すの設	ルギ 世	_		再生 気の			ネノ	レギ・	一電			証書の利	によ 用	る環	境佃	i値
前 か		の 執 の <i>薬</i>	设 告 内 定 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 65	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 135	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 15.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		日三 (1) 1 4 (4)	推計		//	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	14,970.6	45.00	673.7	0.0136	33.6
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	150.0	36.70	5.5	0.0185	0.4
び熱	その他(A重油)		L	11,300.0	39.10	441.8	0.0189	30.6
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	145,862.0	9.76	1,423.6	0.4890	71.3
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,544.6		135.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,696.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,696.0			0.4000	1.5
		合 計							¹⁶ 2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結任	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	立丿	川市	<u> 寸</u> 寸		第七	中学	솯校							
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	6	3				
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	3	4	区ī	市 町	村名	東京都立川市	ī
事	業所	等の) 所 在	地	町。以	名 番	新地 下	西砂)町6	-28	-3							
事	業所等	争の	延床面	ī積		8	,735	.00	m^2		業別ネル				責年 用:	度 <i>0</i> 期 間		□ 1年未満
所	有		形	態		自己	1所7	钉] 他	1.者所	桁						
報	告		範	囲		建物	物の全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一部	部(その他)
共口	告範囲	I か →	ーたフト	口公		事務	新					商業	纟施言	没(物	加販)		□ 商業施設	(飲食)
羊収	古軋世	リリノゴ	こにのと	日述		工場	景					複合	施	没			■ その他	
	本 標 おける	細	分類番	号	8	1	3	1	連	鎖化	と事業				直営		□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 試設備		ルギ 置	_		再生 気の			ルギ	一電	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度らの		设 生 皮	容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 97	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 189	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	^④ 192	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 21.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		可要 (1 4 2 1 1 1 1 1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 奴 (9	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	39,074.1	45.00	1,758.3	0.0136	87.7
燃料	その他(LPG)			kg	142.5	50.80	7.2	0.0161	0.4
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他(A重油)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	206,530.0	9.76	2,015.7	0.4890	101.0
規則	第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,781.3		189.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,474.0			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	5,474.0	/		0.4000	2.2
		合 計				/			¹⁶ 3.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫ (⑫/虎原のスの体の関係(日本関不明の担合するた。)の係業)×1.00

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 7 1 1 1 1 L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

	7 / 1 7/2																			
事	業所	等	の名	称	立丿	川市	<u> </u>		第八	中学	栏校									
事	業	所	番	号	А	1	0	1	3	_	0	0	6	4						
					Ŧ	1	9	0	_	0	0	1	3	区区	† 町	村名	東京都立川市	†		
事	業所	等 σ	所 在	地	町以	名 番	* 地 下	富士	:見町	7-1	24-	1								
事	業所等	等の)	延床面	ī積		8	,311	.00	m^2		業 ア ネ ル				責年 用)] 1 ^全	年未満
所	有	,	形	態		自己	1所1	有] 他	1者列	桁								
報	告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—≒	部(ラ	ーナン	/ト)		□ 建物の一	部(そ	の他	1)
土口	北然 區	I	- ナ- フロ	口公		事務	新					商業	(施	没(物	7販)		□ 商業施設	(飲食	ŧ)	
羊収	告範囲	リクノユ	こにつ月	日述		工場	景					複合	施	没			■ その他			
に	本 標 おける	細	分類番	子号	8	1	3	1	連	鎖化	/事業				直営		□ 加盟店	ı	■非	該当
再の	生可能 利	ドエ 用	ネルキ 状	デー 況				ミエネ 背の設	ルギ :置	_		再生 気の			ルギー	一電	□ 証書に。 の利用	はる環	境価値	直
前か	年度らる			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 59	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 117	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 13.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

		田平 (1・2) 11/1	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	13,629.8	45.00	613.3	0.0136	30.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他(A重油)		L	1,700.0	39.10	66.5	0.0189	4.6
m	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	167,054.0	9.76	1,630.4	0.4890	81.7
規則]第5条の17第3項	更の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,310.3		116.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,782.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,782.0	/		0.4000	1.1
		合 計				/			1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派松 野	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						

1 事業所等の概要

業所	等	の名	称	立丿	川市	立立	<u>.</u>]]]	第九	中学	之校										
業	所	番	号	А	1	0	1	3		0	0	6	5							
				₹	1	9	0	_	0	0	0	1	区ī	市 町	村彡	名 東京都	『立川市	j		
業所	等の	所 在	地	町。以	名 番	* 地下	若葉	[町3	-19	-5										
業所等	争の多	延床面	ī積		8	,608	.00	m^2									年度分	[1	年未満
有		形	態		自己	引所を	有] 他	1.者页	桁									
告		範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)一岩	部(ラ	ーナン	√ ト)		□ 建物	物の一音	部(そ	このも	也)
生 猝 匪	i n i	・たて日	1 1/2		事務	所					商業	(施	没(物	加販)		□ 商訓	業施設	(飲1)	
口軋匠	リマノ土	:/このH	1 歴		工場	<u>司</u>					複合	施	没			■ その	つ他			
おける	細り	分類番	号	8	1	3	1			(事)						□ t	巾盟店	l	■ ∌	非該当
生可育	ピエ 用	ネルキ 状	· 況						_					ルギ	一電			る環	境価	値
			容点																	
	業業告本お生年業所有毎標でで<	業 所 等 の 業細工用 年 をお生 年 の 準細工用 の 事 の ま 産 の ま 産 の ま 産 の ま 産 の ま 産 の ま の ま 産 の ま 産 の ま で で の ま で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で の ま で で	業 所 番 業 所 等 の 所 在 業 所 等 の 延 床 面 有 形 告 範 告 範 囲 の 主 た る 月 本 標 る 細 エ 大 子 る 発 番 キ け る 能 用 と て 利 と 円 の 報 告 内	業所番号 業所等の所在地 業所等の延床面積 有形底 告範囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 本標を類が上で表別である。 本にはいる。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別である。 は、対象を表別では、対象を表別である。 は、対象を表別です。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別である。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を表別でする。 は、対象を、まし、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、	業所番号A 業所等の所在地 業所等の所在地 戦所等の延床面積 素所等の延床面積 素所等の延床面積 手節囲の主たる用途 告範囲の主たる用途 国 告範囲の主たる用途	業所番号A 1 業所等の所在地 町以 業所等の延床面積 有 形 態 ■ 自己 苦	業所番号A 1 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 業所等の所在地 「T 1 9 0 町以 名番地 以 若葉 業所等の延床面積 8,608.00 有 形態 自己所有	業所番号A 1 0 1 3 業所等の所在地 T 1 9 0 1 業所等の延床面積 8,608.00 m² 業所等の延床面積 8,608.00 m² 者 形態 自己所有 □ 建物の全部 □ 事務所 □ 工場 本標準産業分類 8 1 3 1 連 おける細分類番号 8 1 3 1 連 年度の報告内容	業所番号A 1 0 1 3 - で 1 9 0 - 0 で 1 9 0 で 2 を 2 を 3 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	業所番号A 1 0 1 3 - 0	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 0 業所等の所在地	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 6 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 0 1 業所等の延床面積 8,608.00 m² 事業所等の 上 ネルギー 有 形態 自己所有 □ 他者所有 告 範囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(ラーンを) 告範囲の主たる用途 □ 事務所 □ 放合施語 本標準産業分類 8 1 3 1 連鎖化事業区分 生可能エネルギー 利用状況 □ 再生可能エネルギー 列用 状況 □ 再生可能エネルギー 列用 状況 □ 有生可能エネルギー 可見の受力	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 6 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 0 1 区 1 区 1 区 1 区 1 区 1 区 1 区 1 区 1	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 6 5 業所等の所在地 T 1 9 0 - 0 0 0 1 区市町 世界	業所番号A 1 0 1 3 - 0 0 6 5 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 0 1 区市町村々 「T 2 番地 以 本 番地 と	業所番号A1013-0065 業所等の所在地 「T1900-0001 区市町村名東京都 町名番地 以名番地 大葉町3-19-5 業所等の延床面積 8,608.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1 有形態 ■自己所有 □ 他者所有	業所番号A1013-0065 業所等の所在地 町 名番地 以	業所番号A1013-0065 業所等の所在地 町名番地 以名番地 若葉町3-19-5 業所等の延床面積 8,608.00 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 [有形態 ■ 自己所有 □ 他者所有 □ 他者所有 □ 使用の主たる用途 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 産物の一部(その他 ■ その他 ■ をの他 ■ をの他 ■ をの他 ■ をのも □ なける細分類番号 セーデー 和用状況 □ 再生可能エネルギー 利用状況 □ 存産設備の設置 □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環の利用	業 所 番 号 A 1 0 1 3 - 0 0 6 5 業所等の所在地 「T 1 9 0 - 0 0 0 1 区市町村名 東京都立川市 町 名 番 地 以

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 146	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 16.8	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8 =(6 /1000) × 7	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	15,398.8	45.00	692.9	0.0136	34.6
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	50.0	36.70	1.8	0.0185	0.1
び熱	その他(A重油)		L	10,900.0	39.10	426.2	0.0189	29.5
2002	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	166,253.0	9.76	1,622.6	0.4890	81.3
規貝	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,743.6		⁽¹⁵⁾ 145.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,028.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	2,028.0	/		0.4000	0.8
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

エネ)	体制の整備ルギー等の状況の把握	B101	自ら入手可能な	対策名 な情報に基づく把握	対策番号	対策名	
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ)	ルギー等の	B101		な情報に基づく把握			
エネ/ 東用 ²	ルギー等の 状況の把握	D105		な情報に基づく把握			
ェネ <i>)</i> 東用:	ルギー等の状況の把握	D105		よ月刊(に至って)に1生			
更 用 ; 	状況の把握	D100	1/. ()	用量の前年度比較			
				17 = 17 17 17 17 17 17 17			
					CB01	空室・不在時等のこまめな消息	丁
					CB09	空室・不在時等の空調停止	
運	用対策						
省							
エネ							
小 ル							
ギ		D103	市市教派縣 聖	等の定期点検の実施			
対			十大杰派成的	寺の足朔点俠の天旭			
策設	備保守対策						
⇒几	供道1分笠						
取	備導入対策						
主結在	医の目標達成	の生活	□目標達原	む 1 た			
大順十		1 2 1 X 1 D L		XU1C ₀			
5 提	出年度の地球	温暖化丸	策の目標	_			
目標	その 有無	□有	無無		<u> </u>		
		ベンチマー	ク区分	ランク	CO	2削減率(前年度比)	%
目標値	等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に内容を	記載		
3 特計	記事項						